

不適切なサービス管理

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項																	
<p>思斉支援学校</p>	<p>特別休暇（服喪休暇）について、親族の対象外の者を承認しているものが2件あった。</p> <table border="1" data-bbox="537 499 1590 674"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>続柄</th> <th>休暇承認日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>配偶者のおば（服喪休暇対象外）</td> <td>令和4年8月23日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>従兄弟（服喪休暇対象外）</td> <td>令和4年11月18日</td> </tr> </tbody> </table>	職員	続柄	休暇承認日	A	配偶者のおば（服喪休暇対象外）	令和4年8月23日	B	従兄弟（服喪休暇対象外）	令和4年11月18日	<p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例】 （特別休暇） 第15条 任命権者は、職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、当該各号に定める期間の特別休暇を与えることができる。 六 前各号に掲げるもののほか、人事委員会規則で定める場合 人事委員会規則で定める期間</p> <p>【職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則】 （特別休暇） 第10条 条例第15条第6号の人事委員会規則で定める場合は、次の各号に定める場合とし、同号の人事委員会規則で定める期間は、当該各号に定める期間とする。 六 親族の喪に服する場合 別表第5に定める日数以内で必要と認める期間</p> <p>別表第5（第10条関係）</p> <table border="1" data-bbox="1789 1142 2691 1373"> <thead> <tr> <th>死亡した者</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>父母、配偶者、子</td> <td>7日</td> </tr> <tr> <td>祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者</td> <td>1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>（以下略）</p>	死亡した者	日数	父母、配偶者、子	7日	祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母	3日	孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者	1日
職員	続柄	休暇承認日																	
A	配偶者のおば（服喪休暇対象外）	令和4年8月23日																	
B	従兄弟（服喪休暇対象外）	令和4年11月18日																	
死亡した者	日数																		
父母、配偶者、子	7日																		
祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母	3日																		
孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者	1日																		
<p>措置の内容</p>																			
<p>誤って承認した特別休暇（服喪休暇）については取り消し、年次休暇として処理を行った。                  検出事項の原因は、申請者が服喪休暇のサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。                  再発防止に向けて、関係職員に対してサービスに係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者が承認を行う際はその要件の確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。                  今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p>																			

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）